

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 日本ソフトウェア  
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北角浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 世古哲久  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	282	—	△56	—	△39	—	△19	—
20年3月期第1四半期	549	—	63	—	52	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△930.86	—
20年3月期第1四半期	1,572.83	1,492.82

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	2,191	—	1,204	—	55.0	—	56,878.35	
20年3月期	2,174	—	1,213	—	55.8	—	57,776.72	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,204百万円 20年3月期 1,213百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	250.00	250.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,033	—	74	—	71	—	42	—	2,010.32
通期	2,863	33.5	328	0.4	316	11.6	188	72.6	8,925.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 21,175株 20年3月期 21,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,131株 20年3月期第1四半期 19,667株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国の景気後退や原油・穀物等の原材料価格の高騰により、景気に停滞感が漂っております。

当社が属しておりますコンシューマゲーム業界におきましては、新規ハードのソフトラインナップの充実などを背景に、携帯型ゲーム機を中心として活気を見せております。モバイルゲーム業界におきましては、高速データ通信や定額料金制の普及により、携帯電話でインターネットを楽しむ環境が整備されてきました。アミューズメント業界におきましては、厳しい事業環境の中、次期以降の高い収益性獲得に向けて、アミューズメント施設の整理が進んでまいりました。

このような環境の下、当社ではコンシューマ事業におきましてはマルチプラットフォーム戦略を推し進め、ニンテンドーDSへの新規参入を果たしました。モバイル事業におきましては、携帯電話用アプリゲームのラインナップ拡充を図り、ユーザー満足度の向上に努めました。アミューズメント事業におきましては、ファミリー向けアミューズメント施設の運営を中心に、事業を展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高282,674千円（前年同期比48.6%減）、営業損失56,888千円（前年同期は63,330円の営業利益）、経常損失39,190千円（前年同期は52,683円の経常利益）、四半期純損失19,670千円（前年同期は30,932千円の四半期純利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （コンシューマ事業）

当事業におきましては、複数のハードにてコンテンツを展開するマルチプラットフォーム戦略を推し進めました。ニンテンドーDSに新規参入を果たし、ニンテンドーDS専用ソフトとして当社主力商品の移植作である「魔界戦記ディスガイア～魔界の王子と赤い月～」及び新感覚アクションジグソーパズル「ジグソーワールド～大激闘！ジグバトル・ヒーローズ～」の2タイトルを発売いたしました。

その結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高248,784千円（前年同期比48.5%減）、営業利益3,871千円（前年同期比96.9%減）となりました。

#### （モバイル事業）

当事業におきましては、携帯電話向けアプリゲームのラインナップを拡充し、ユーザー満足度の向上に力を入れてまいりました。6月にはiモード向け携帯電話用アプリゲームとして、やりこみ要素満載の超ド級本格RPG「ドラゴンヴェイン」及びディスガイアシリーズの世界観を継承した学園コミュニケーションRPG「魔界学園ディスガイア」の2コンテンツの配信を開始いたしました。

その結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高20,606千円（前年同期比9.0%増）、営業利益4,853千円（前年同期は14,027千円の営業損失）となりました。

#### （アミューズメント事業）

当事業におきましては、ファミリー向けアミューズメント施設の運営を中心に、事業を展開してまいりました。

その結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高8,881千円（前年同期比78.6%減）、営業損失8,750千円（前年同期比13.7%減）となりました。

#### （その他の事業）

当事業におきましては、国内・海外にてグッズ販売を行いました。国内では、当社の新作タイトルの発売に合わせた新作グッズの企画・販売や、当社ホームページでのオンライン通信販売を行ってまいりました。海外ではオンライングッズショップを運営し、当社ゲームソフトや当社ライセンス商品をはじめ、多様なニーズに対応できる商品ラインナップを目指してまいりました。

その結果、当事業における当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高4,402千円（前年同期比31.8%減）、営業利益1,980千円（前年同期比36.2%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,191,647千円となり、前連結会計年度末に比べ17,183千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度に比べ41,685千円の減少）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度に比べ15,650千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の売却等による減少（前連結会計年度に比べ62,726千円の減少）等によるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は987,248千円となり、前連結会計年度末に比べ26,095千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（前連結会計年度に比べ60,290千円の減少）、短期借入金の増加（前連結会計年度に比べ86,500千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少（前連結会計年度に比べ10,002千円の減少）等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,204,399千円となり、前連結会計年度末に比べ8,912千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、四半期純損失による減少等によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は384,850千円となり、前連結会計年度末に比べ41,706千円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は181,283千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失39,308千円、たな卸資産の増加額104,448千円、仕入債務の減少額63,229千円、法人税等の支払額41,387千円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、43,866千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入71,347千円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、72,998千円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額86,500千円、長期借入金の返済による支出10,002千円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績は概ね当初予想どおりに推移しており、平成20年3月期決算短信（平成20年5月15日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用については、海外連結子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

②定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告18号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

④「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	504,930	546,616
受取手形及び売掛金	225,310	209,660
商品及び製品	94,354	10,953
仕掛品	271,542	250,280
その他	138,943	132,775
流動資産合計	1,235,081	1,150,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	466,520	474,798
土地	192,469	192,469
その他(純額)	61,796	58,596
有形固定資産合計	720,786	725,864
無形固定資産		
のれん	43,091	46,280
その他	88,874	85,892
無形固定資産合計	131,965	132,172
投資その他の資産		
投資有価証券	76,975	139,701
その他	26,837	26,438
投資その他の資産合計	103,813	166,140
固定資産合計	956,565	1,024,177
資産合計	2,191,647	2,174,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,126	69,416
短期借入金	396,500	310,000
未払法人税等	335	44,137
賞与引当金	19,463	22,717
売上値引引当金	53,439	55,271
その他	184,242	125,550
流動負債合計	663,107	627,092
固定負債		
長期借入金	323,438	333,440
退職給付引当金	703	620
固定負債合計	324,141	334,060
負債合計	987,248	961,152

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	240,775	239,900
資本剰余金	230,775	229,900
利益剰余金	750,616	775,536
株主資本合計	1,222,166	1,245,336
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	313	△298
為替換算調整勘定	△18,081	△31,727
評価・換算差額等合計	△17,767	△32,025
純資産合計	1,204,399	1,213,311
負債純資産合計	2,191,647	2,174,463

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	282,674
売上原価	145,400
売上総利益	137,273
販売費及び一般管理費	194,161
営業損失(△)	△56,888
営業外収益	
受取利息	2,219
受取配当金	782
為替差益	16,225
その他	1,179
営業外収益合計	20,406
営業外費用	
支払利息	2,679
その他	29
営業外費用合計	2,709
経常損失(△)	△39,190
特別損失	
固定資産売却損	117
特別損失合計	117
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,308
法人税等	△19,637
四半期純損失(△)	△19,670

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,308
減価償却費	23,054
のれん償却額	1,731
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,307
売上値引引当金の増減額(△は減少)	△5,219
退職給付引当金の増減額(△は減少)	82
受取利息及び受取配当金	△3,001
支払利息	2,679
為替差損益(△は益)	△9,463
有形固定資産売却損益(△は益)	117
売上債権の増減額(△は増加)	△12,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,448
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,229
その他	72,960
小計	△139,722
利息及び配当金の受取額	2,476
利息の支払額	△2,649
法人税等の支払額	△41,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	△181,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△9,502
有形固定資産の売却による収入	153
無形固定資産の取得による支出	△9,883
投資有価証券の取得による支出	△7,285
投資有価証券の売却による収入	71,347
その他	△963
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	86,500
長期借入金の返済による支出	△10,002
株式の発行による収入	1,750
配当金の支払額	△5,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,706
現金及び現金同等物の期首残高	426,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	384,850

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	248,784	20,606	8,881	4,402	282,674	—	282,674
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	248,784	20,606	8,881	4,402	282,674	—	282,674
営業利益又は営業損失(△)	3,871	4,853	△8,750	1,980	1,956	△58,844	△56,888

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	PlayStation専用ゲームソフト、PlayStation2専用ゲームソフト、PlayStationPortable専用ゲームソフト、PLAYSTATION3専用ゲームソフト、ニンテンドーDS専用ゲームソフト
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ
アミューズメント事業	業務用アーケードゲーム機器、アミューズメント施設運営
その他事業	関連グッズ、関連攻略本

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	日本(千円)	北米(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	218,944	63,729	282,674	—	282,674
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,199	456	10,655	△10,655	—
計	229,144	64,185	293,330	△10,655	282,674
営業利益又は営業損失(△)	16,179	△14,222	1,956	△58,844	△56,888

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
北米・・・米国

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	549,490
II 売上原価	272,987
売上総利益	276,502
III 販売費及び一般管理費	213,172
営業利益	63,330
IV 営業外収益	14,938
V 営業外費用	25,585
経常利益	52,683
VI 特別利益	255
VII 特別損失	64
税金等調整前四半期純利益	52,873
税金費用	21,941
四半期純利益	30,932

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	52,873
減価償却費	11,762
のれん償却額	2,229
賞与引当金の増加額	289
売上値引引当金の減少額	△33,414
退職給付引当金の増加額	116
受取利息及び受取配当金	△2,969
支払利息	992
為替差益	△3,436
株式交付費	2,863
固定資産売却損	64
売上債権の減少額	66,845
たな卸資産の増加額	△90,632
仕入債務の増加額	83,257
前渡金の増加額	△13,345
その他	△9,278
小計	68,219
利息及び配当金の受取額	4,182
利息の支払額	△1,049
法人税等の支払額	△36,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,042
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△40,000
有形固定資産の取得による支出	△127,840
有形固定資産の売却による収入	1,390
無形固定資産の取得による支出	△6,412
投資有価証券の取得による支出	△124
その他	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,837
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	△30,000
長期借入金の返済による支出	△33,953
株式発行による収入	331,936
配当金の支払額	△4,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	263,733
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	11,252
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	137,190
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	442,010
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	579,200

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	コンシューマ事業 (千円)	モバイル事業 (千円)	アミューズメント事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	482,709	18,901	41,427	6,451	549,490	—	549,490
営業費用	358,870	32,929	51,572	3,346	446,718	39,441	486,159
営業利益	123,839	△14,027	△10,144	3,104	102,771	△39,441	63,330

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	279,574	300,710	580,284	△30,794	549,490
営業費用	266,007	211,504	477,512	8,646	486,159
営業利益	13,566	89,205	102,771	△39,441	63,330